

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称	〔46〕 東京都台東区立小島社会教育館					
指定管理者の名称	アズビル株式会社			指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都墨田区みどりコミュニティセンター等（計29件46施設）					
(3)経営状況	売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益	（単位：百万円）		
	25年 61,887	49,624	12,263			
	26年 65,096	51,076	14,020			
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区小島1-5-2（都営小島ビル2F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を促進する。ラーニングスクエア等の学習機会を提供し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	主に社会教育関係団体。					
(4)開館日・時間	開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始（12/28～1/4）設備点検日					
(5)規模	ホール：100名（129㎡）第一和室：15名（57㎡）第二和室：30名（70㎡） 第一会議室：30名（51㎡）第二会議室：20名（25㎡）第三会議室：20名（25㎡）					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2)自主事業	4 講座実施 延 18 回 延参加人員 163 人					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	14,146,000	14,098,000	16,783,000	16,624,000	17,175,000
	利用料金収入	2,210,000	2,450,000	1,600,000	1,670,000	1,780,000
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,356,000	16,548,000	18,383,000	18,294,000	18,955,000
決算	委託料	14,146,000	14,098,000	16,783,000	16,624,000	17,175,000
	利用料金収入	1,749,380	1,664,050	1,762,605	1,801,150	1,824,550
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	15,895,380	15,762,050	18,545,605	18,425,150	18,999,550
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
年間開催日数	日	343	339	340	342	
自主事業等講座数	講座	18	17	14	14	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （28年度）	24年度	25年度	26年度	
利用率	%	34.5	33.0	34.8	32.9	
利用人数	人	24,700	23,649	24,915	24,042	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

子育て世代を対象に託児付き講座として、『親子で楽しむ落語講座』を実施した。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、「中国語で観光ガイド」として、海外からの旅行者へのおもてなしとして台東区を案内するための講座を中国語で実施するなど、新たな視点で講座を開設した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目									
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(b)サービス水準 [2]	(c)職員配置 [2]	(d)職員研修 [2]	(e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(g)自主事業の成果 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(i)緊急時対応 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(b)備品の管理 [2]	(c)清掃・衛生管理 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(c)利用者数等の目標達成 [2]		(d)利用しやすい環境整備 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]				
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]			(c)収支計画の達成 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]				

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	参加者の裾野を広げるために、ニーズが高いと思われる講座の定員設定を増加して充実を図っている。展示ケースをロビーに設置しサークル作品を展示して意欲の向上に努めるなど、事業運営に工夫している。
(2)施設の維持管理	A	年度計画・月次工程を立て、点検等を実施し、必要な修繕を行っている。また、施設の老朽個所を洗い出しし、速やかな是正処理を実施している。
(3)利用者の満足度	A	受付窓口に蛍光灯スタンドを設置し、利用者が申請書等を記載し易いようにしているなど、利用者目線に立ったサービスを提供するよう努めている。
(4)収入支出	A	利用収入は前年度と比較して、横ばいである。また、照明の部分消灯や裏紙印刷の励行をして節約に努める等、適切な予算執行に努めている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

参加者の裾野を広げるために、ニーズが高いと思われる講座の定員設定を工夫。また、サークル参加者の志気があがる展示ケースの設置など事業運営を工夫している。

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

今年度実施した館独自のサークルフェスタを展開させ、各サークルの連携を広げるとともに、ものづくりの講座や託児付の講座を充実していく。また、引き続き、2020年東京大会に向け、多様な言語や文化、オリンピック・パラリンピックについての理解や親しみを深める講座の充実を図る。